



Mrs.オオタニ見参！

時代錯誤！自民党青年局近畿ブロック会議懇親会？

昨日からすっかり暖かな陽気になり、コートなしでも散歩できるようになりました。それはそれで気持ちがよいのですが、花粉の飛び交う量も倍増、僕は何ともないのですが、帰るときは玄関の外で衣類を叩いてから家に入っても突然カミさんがくしゃみを連発、気の毒ですがお手上げです。しばらくそんな日々が続くと思われま。

昨日、北陸新幹線金沢－敦賀間一かがやき号一が開業し、被災地能登に近い北陸では明るい話題で盛り上がっていました。被災地支援の“北陸応援割—1泊上限2万円割引—”も同時に始まり、復興に向けての“輝き”が見えてきました。加賀温泉のホテルや旅館には被災地からの2次避難者も宿泊しているとのことですが、その方たちの受け入れをしながら両立させていくとのこと。その部分も国が全面的にバックアップしてあげればと思います。

自民党ではキックバックの裏金を被災地に寄付しようなんて言い出したヤツらもいるようで、違う！それは納税してから回すのが筋、ホント頭の悪いどうしようもない連中です。衆院に続いて参院政倫審も先週開催されましたが、そのゴタゴタの中、昨年11月、和歌山市内のホテルで開催された党青年局のブロック大会の懇親会で露出度の高い女性ダンサーが複数参加し、ダンサーたちに触ってチップは“口移し”だったことが露呈し、不祥事の炎に油が注がれた形になり、主催した何人か離党やら辞職に追い込まれたようです。時代錯誤も甚だしいこの件で思い出しましたが、20年近く前に“日本青年会議所—JC—”の全国大会が秋田市で3日間の日程で開催された時に県南部の山奥でのバーベキューパーティーにバニーガールが大勢参加して県民にヒンシュクを買ったことがありました。そして市内の繁華街にあるソーブランドはすべて朝まで貸し切り状態、アンタら一体何しに秋田に？って思ったことがありました。そのメン

バーの何割かは現在自民党の県議や代議士になっています。現在日本青年会議所会頭は麻生さんの息子、任期満了で麻生さんの後釜のルールが敷かれています。僕も秋田時代に地元の JC のメンバーと若干お付き合いがありましたが、まあ、いいところのお坊ちゃまばかり、そういえば米国の留学帰りの 2 代目御曹司が大蔵所持により JC を除名されたこともありました、今何してんだろ？ 東京新聞“本音のコラム”師岡カーリーマさんの論評です。

醜い言い訳 3月16日付

師岡 カーリーマ — 文筆家 —

アラブ人がよく口にする慣用句に、「罪より醜い言い訳」というのがある。使い方の例としては「自民党議員の会合に露出の多いダンサーが招かれた不祥事について、多様性をめぐる問題提起が目的だったと弁解するなんて、罪より醜い言い訳だ」などが挙げられる。

いや、違うかも。確かに滑稽すぎて目を疑う弁明だが、眼を覆いたくなるほど醜いのは、やはり罪の方だ。党は今、裏金問題の泥に溺れている。党総裁は「信頼回復」と繰り返す。そういう時に会合にダンサーを招く神経も、体に触って口移しでチップを渡す下劣さも、想像するだけで醜い。

最近の自民党はまた、以前にも差別発言が問題になった議員が、人権状況の改善を求めるアイヌ関係者を「日本に存在しない差別を話す人たち」と書き込んで再び中傷したことが報道された。

個人的な経験から言えば、差別される側は一度や二度の理不尽を即座に「差別」と意識するわけではない。それが繰り返されたり、その際の出自を指摘されたりする体験が蓄積されて初めて、差別されているという痛恨の気づきに至る。それまでは「私に非があるのでは」と自分を責めることも多い。声を上げて差別を訴えるのは苦痛だ。楽しくてやる人はいない。差別する側の多数派に属する人には見えない。または見ようとしない差別は、存在しない差別ではない。

和歌山の件は、カネの出どころが党本部や県連が費用を負担していることがミエミエ、よくも恥ずかしくもなくカネを出すもんだと耳を疑いたくもなります。“多様性をめぐる問題提起”…よくもまあイケシャーシャーと。また後半の内容は、あの杉田水脈という変な女のことで、度重なる発言を“個人の言動”として放置している自民党もどうかと思います。野党であれば“除名”“議員辞職”相当だと思われれます。まあ自分たちもマイノリティの人たちに同じような感情を持っているから、代弁者として“見て見ぬふり”都合のよい役回りを彼女に押し付けているのかもネ。札幌高裁の同性婚を認めない民法などの規定は違憲とした判決、もう国際的にも各国が法制化している中で、日本国民の 7 割が法制化を望んでいるのに、“夫婦別姓”も含めて反対しているのは自民党—安倍派—だけ、世間に後れを取っています。もういい加減にしたらと思うのは僕だけじゃないと思いますが…。

次期戦闘機とやらの共同開発と第三国への輸出を自公与党だけで閣議決定してしまいました。なんでもかんでも閣議決定するなら、もう国会はイライナイ。まあ、野党含めて国会はすでに体をなしていない状況ですが…。一度、国会は議員全員を解雇して、やり直してはいかがでしょうか。東京新聞、本日の第1面“筆洗”です。

筆洗 3月17日付

1年間の禁酒を約束した男がいる。が、どうしてもお酒を飲みたい。そこで夜だけ飲むことにして代りに「禁酒期間」を2年間に延ばした。友人がさらに提案する。「禁酒期間」を3年にすることにして、昼も夜も飲めることにしたらどうか。おなじみの小咄だろう▼期間を延ばしても、これでは禁酒にはならない。妙な理屈をこしらえては決めたことを破ってしまう人の弱さがおかしくも、悲しい。▼心配性の小欄は時代があつた男と同じ道をたどっているような気になってしまう。「禁酒」ではなく、戦後日本が立てた「平和主義」という決めごとである。日英伊3カ国で共同開発する次期戦闘機を巡る問題で、自民、公明両党は日本から第三国への輸出を解禁することで合意した▼武器輸出三原則さえ遠い昔で、時代を追うごとに武器輸出に抑制的な方針は弱められ、とうとう人をあやめる戦闘機まで輸出する国となる▼輸出したい事情や理屈はもちろんある。安全保障環境は緊迫化しており、高性能の戦闘機で備えたい。生産コストを抑えるために第三国への輸出を認めなければ共同開発がうまく進まない。ただ、どんなに理屈を並べ、条件を加えようとも紛争は助長しかねない戦闘機を輸出できるのであれば、「平和主義」という国の決めごとは怪しかろう▼禁酒中と言いつつ、昼夜なく、だらしなく酒をあおる男が見える。

何度もいいますが、公明党はもう“平和の党”の旗を降ろすべき、ただ与党として政権にくっついていたいだけのようです。10年以上国交相のポストを自民党から授かりふんぞり返っているだけ、創価学会も公明党を見切るべきです。裏金でボロボロの自民党を見捨てるくらいの気概があつてもよさそうなものですが…。 “昨日知ったぜいたくを今日捨てるとは無理さ／でも僕は欲しかったよ ぜいたくすぎる君を～♪—by 泉谷しげる“火の鳥”—”のフレーズを思わず口ずさんでしまう僕がいます。関連で東京新聞“本音のコラム”三木義一さんの論評を続けます。

賄賂は続くよどこまでも 3月14日付

三木 義一 — 青学大名譽教授 —

最近の与党政治家の無様な姿勢を見ると、やはりあの時の国税庁の判断ミスが今日の結果を招いているのかもしれない。

1966(昭和41)年に田中彰治代議士の不正収入と無申告の実態が検察の手で明らかになり、国税庁がそれまで代議士には何もしてこなかったことが暴露され、大きな批判にさらされた。

それまでは、代議士が個人から受ける献金は「贈与」、法人から受け取るものは「一時」所得として扱っていた。政治活動が何らかの収入を生み出すことはないし、法人からの献金も法人の業務

とは全く関係なく、偶発的に受けたものにすぎない、という前提で考えられていたのだ。だが、申告してくれる代議士は皆無だった。しかし、これでは、国民の批判をかわせない。そこで、少しでも申告してもらうように、政治献金を雑所得に入れることに変更し、政治活動支出は必要経費に入れる大転換をしたのである。負担を大幅に減らせるので、申告数が増えると考えたのであろうが、与党政治家は個人ではなく、政治団体を受け皿にしていたようである。

そもそも政治献金を「雑収入」にして政治活動費を経費にしたら、政治活動は公益のための無償の行為ではなく、収入を得るための活動になってしまいませんか？そういう収入を庶民は「賄賂」とよんでおります、はい。

とても分かりやすい内容です。先週 15 日で確定申告の期限が過ぎましたが、政治屋の誰一人として、申告したという話はありません。鈴木財務大臣自らが納税の必要はないというのだから、その他大勢の政治屋はさぞや心強いでしょうネ。申告期限が過ぎてもまだ間に合うので、今からでも帳簿と領収書の整理を始めてはいかがですか。

韓国で開幕する今シーズンの米大リーグ、移動のための出発を前に、大谷翔平選手の結婚相手が同伴する動画が世界中を駆け巡りました。田中真美子さんという元 W リーグのバスケット選手だそうです。195cm と 180cm のカップル、生まれてくる子どもはどんだけデカイ？と要らぬ勘ぐりを入れたりしています—今はこれもセクハラ—。でも優しそうなステキな女性です。羽生結弦さんのようなことにならないように願うばかりです。大谷選手は今日、高尺スカイドームで行われる韓国プロ野球・キウムとのエキシビジョンマッチに 2 番・指名打者で先発出場し、結果 2 打席 2 三振。20 日から始まる ドジャース vs パドレス戦、大谷とダルビッシュの対戦が楽しみです。第 2 戦は山本由伸が先発とのこと、パドレス新加入の松井も調子が良さそうなので、今年も見ごたえのあるゲームが続きそうです—マエケンはどうなのかな？—

昔“巨人 大鵬 卵焼き”と言われた時代がありましたが、令和になった今日では何に置き替わるのかなと考えてみました。個人的には大谷を絶対入れたいので、これをメインに“阪神 大谷 ハンバーグ”などはいかがかな？でも当時の巨人 V9 のようにタイガースの時代が続くのか、阪神ファンではない僕としては少しばかり不安です。まあ、そのうち何かに入れ替えるかも…。

単調な日々を送っているうちに、3 月もう終わり、街は卒業式や転入転出の引っ越しシーズンです。僕が通っている職場でも亀戸から仙台へ異動する女性がいて、引っ越し料金が倍近くに跳ね上がっていて、会社持ちではあるものの恐縮してしまうと話していました。大手企業は春闘満額回答といっちはいるものの、物価がそれ以上に高騰していて実質賃金が目減り、中小、零細企業やパートの国民は苦しんでいます。これをなんとかしてくださいよ、聞く耳すら持っていない岸田さん！